



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



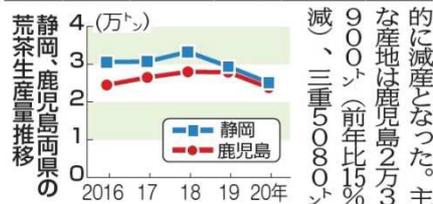
記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年2月20日朝刊

本県荒茶生産最低 2位鹿児島との差縮小 20年

農林水産省が19日発表した2020年茶の生産統計によると、本県の荒茶生産量は、前の残る1959年以降のもの、2位の鹿児島県との差は1300トまで縮まった。

関係記事7面へ
国内合計は15%減の6万9800トと全国的に減産となった。主な産地は鹿児島2万3900ト(前年比15%減)、三重5080ト



14%減)、宮崎3060ト(13%減)など。20年シーズンは、春先の冷え込みなどの天候不順に加え、新茶商戦と新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が重なって、1ツ茶の需要が低迷した。取引が振るわず、減産に拍車がかかった。JA静岡経済連のまとめによると、1ト当たり平均単価は一番茶が1760円(104円安)、一番茶55円(54円安)、四番茶323円(13円安)と年間通して過去最低を更新した。

生産統計調査は昨年12月、全国の荒茶工場1277カ所を対象に行い、1065工場から回答を得た(回答率83.4%)。

①2020年の「荒茶生産量」の全国第2位は何県ですか。

()県

②2020年の「荒茶生産量」で、静岡県は全国の何%をしめていますか。

()%

③2018年以降の静岡県の「荒茶生産量」はどのように変化していますか。

[Blank box for answer]

④記事中で、2020年の静岡県の「荒茶生産量」が減った理由に関係しているところに線を引きましょう。

年 組 名前

